

あけましておめでとうございます。今年もよろしくお願いします。

冷たい雨が降る中、みなさん、よくがんばって登校しましたね。今日から3学期が始まります。

年が明けたら寒さが厳しくなってきました。それもそのはずです。1月5日には、「寒の入り」とも呼ばれる「小寒」を迎えました。

日本には、一年を24に分けて、それぞれに季節を表す言葉をつけた「二十四節気」という呼び方があります。そのうちの一つが「小寒」です。小寒は、昨年12月22日の「冬至」と、一年で最も寒い頃とされる「大寒」の間にあります。ということは、これから大寒に向けて寒さが一段と厳しくなると予想されます。大寒は1月20日から2月3日頃です。寒さに備えましょう。その後、2月4日には「立春」を迎え、暦の上では春を迎えます。立春も二十四節気のうちの一つです。興味のある人は、ほかにどんな二十四節気があるのか調べてみてください。新たな発見があると思います。

ちなみに、暦の上で春を迎える「立春」の前日は、冬と春を分けるということで「節分」と呼ばれています。豆まきが行われていますね。なぜ、豆がまかれるのでしょうか。これも気になります。

さて、先ほど6年生の女子児童から、3学期の抱負の発表がありました。これまでの学校生活を振り返り、がんばれたと思うことと、がんばりたいことが述べられました。この人は4月から中学生になります。勉強面や生活面で中学校ではこうなるだろうと予想して、その上で、自分の将来の夢を実現させるために、勉強面と生活面でこれからがんばりたいことが明確に述べられていました。とてもすばらしい発表でした。

年のはじめに、これまでの自分を振り返ってみるということは、とても大切なことだと思います。みなさんも、これまでの自分を振り返り、自分の夢や希望を叶えるために、学習面や生活面でこれからがんばりたいことを目標として掲げてみてください。

こんな言葉を知っていますか？ 「1月は行く、2月は逃げる、3月は去る」

1月は今日が11日です。新年が明けてから10日が過ぎました。2月は他の月よりも日数が少なく、28日しかありません。3月は年度末で一年間のまとめの時期です。同時に、進学や進級の準備をする時期でもあります。3月18日が卒業式、24日が修了式になり、令和3年度が終わります。

4月から6年生は中学生に進学し、5年生は6年生に、4年生は5年生に、3年生は4年生に、2年生は3年生に、1年生は2年生に進級します。4月から、みなさんは、今いる所とは違う所で学校生活を送ることになります。

3学期、みなさんが学校に来る日数は、6年生はあと46日、1年生から5年生はあと48日です。今日は、1月11日。新しい年を迎えてもう10日が過ぎてしまいました。一年が365日であることを考えると早いものですね。このスピードで行くと、あっという間に3学期が、いや一年間が過ぎ去ってしまうような気がします。

「友達」や「先生」とのかけがえのない日々を思い出深いものにするために、カウントダウンをしながら、一日一日を大切に過ごしていきましょう。そしてこの一年を、みんなで力をあわせて、いい年にしていきたいと思います。